

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和5年3月13日

事業所名 愛の木放課後等デイサービス uki

保護者等数（児童数）8 (8) 回収数8 割合 100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	100%			広々としたスペースだと思う。	基準に従い、適切にスペースの確保を行っている。また、環境設定として各活動に取り組む範囲を分けたりしている。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	88%	12%		障がいの程度で職員の配置が決められると思うが事業所の配置がどうなっているのか保護者では分からず。	基準に従い適切に人員配置を行っている。また、研修等への積極的な参加を促し資質向上にも取り組んでいる。希望に応じて見学等可能なことを随時伝える。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	100%				配慮が必要な箇所には設置を検討し適宜設置していく。
適切な支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	100%			十分に計画実施されていると思うが担当職員、保護者と利用者本人について話し合う機会があった方が良いと感じることがある。	本人や保護者のニードを受け各々の成長に沿った支援計画を立て、それに基づいて支援を行っている。希望があれば支援会議等を計画していく。
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	100%				職員が日々検討し、計画を行っている。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がないの子どもと活動する機会があるか	40%	48% (無回答 1)			新型コロナウイルス感染予防の為自粛している。今後は様々な機会を考えていきたい。
保護者への説明	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	88%	12%			今後も継続していく。
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができるているか	76%	24%			送迎時や連絡ノートを利用しながら今後も継続していく。
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	76%	24%			保護者の不安や悩みに寄り添い、適切な支援に繋がる様取り組んでいく。
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	76%	24%		懇親会が開催されている。	新型コロナウイルス収束後、状況を見て開催予定。(アンケート回収後開催した)
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	76%	24%			今後も継続していく。

明等	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100%			ラインを導入された。	今後も送迎時や連絡ノート等を通して情報伝達等を行っていく。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	88%	12%			今後も継続していく。
	14	個人情報に十分注意しているか	100%				今後も継続していく。
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	64%	24% (無回答 1)			今後も継続していく。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	76%	(無回答2)			6ヶ月に一度避難訓練を実施している。訓練時の様子等の発信も継続して行っていく。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	100%				今後も継続していく。
	18	事業所の支援に満足しているか	100%				今後も継続していく。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。